

整理番号	28-3	事務事業名	橋梁補修事業		作成部署	建設部土木事務所	電話	内線760
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	斉藤順二	課長職名	高橋孝一	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H4	根拠法令等	道路法第42条					
〃終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	市内には歩道橋を含め80橋があり、その大半が昭和59年までの架設で、経年劣化による損傷及び錆び等による腐食が進んできている。その補修は、いずれも多額の費用を要し、その数も多いことから、計画的に対応することになった。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	高い都市機能を持ち、活力にあふれるまち	(第5章)
	節	道路と交通	(第3節)
	施策	市内幹線道路・生活道路等の整備	(第1施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	市道に設置されている橋梁	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	経年劣化による損傷及び錆び等による腐食を補修(塗装を含む)し、施設の延命と通過車両等の通行安全の確保を図る。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	平成13年度 : 天使歩道橋階段部補修 1橋 平成14年度 : 未実施 平成15年度 : 未実施
		17年度	他の政策的事業との関係や財政的問題から、次年度以降の対応とする。

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

	区 分	15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	0	0	0	(調査費) 3,600
	合計	0	0	0	3,600
人件費(概算)	人数(年間)	0.00	0.00	0.00	0.05
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	0	0	0	450
総事業費 +		0	0	0	4,050

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	補修橋梁数	0	0	0	0
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	橋梁補修率(%)	0%	0%	0%	0%
	(補修数 ÷ 補修必要橋梁数)	0/80	0/80	0/80	0/80
	橋梁総数 80橋				
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	橋梁1箇所当たり補修コスト	0千円/橋	0千円/橋	0千円/橋	0千円/橋
	(総事業費 ÷ 補修数量)				

整理番号 28-3

### 3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等  
市内には現在、道路橋67橋、歩道橋13橋の合計80橋が設置されているが、いずれも老朽化が進んできている。その補修には多額の費用を要するが、通行車両等の安全確保のため、計画的な補修が求められている。

#### 【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市が維持管理する道路施設であることから、市が負担すべきものである。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	通行車両等の安全通行のための補修事業であり、その目的は妥当である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	補修工事として対応するものであり、手段は適切である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	道路管理者の責務であり受益者の負担の余地はない。	

#### 【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	一部の補修は実施したが、実施箇所数が少なく全体的には、余り成果は上がっていない。	早期に補修計画を立て、危険度の高いものから順次実施する。
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト節減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	補修は多額の費用を要するため、部分的補修となりがちで、大規模な補修と比べ効率が悪くなる。	部分的な補修ではなく、計画を立て補修を実施する。

#### 【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

### 4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	平成10年度に17橋の目視による損傷度調査を実施している。残りの橋については、損傷度を把握するための調査を実施し、計画的に補修する。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	通行車両や歩行者の安全確保のためにも、損傷が激しく緊急度の高いものから実施していく。